

## 非認知スキルの向上に関する介入研究

担当する研究者の名まえ：浜松医科大学 (053-435-2331)

千住 淳、和久田 学、西村 倫子、  
津久井 伸明、平田 郁絵

子どもの発達科学研究所 (053-456-0575)  
大須賀 優子

### 1 この調査について



この調査研究の目的は、これからの時代を生きる人々に必要とされる非認知スキルを、効果的に身につける方法について明らかにすることです。非認知スキルとは、漢字や計算など、教科の学習の中で身につける力とは別のもので、まわりの人とコミュニケーションをはかったり、自分自身を外側から見つめたり、自分の感情をコントロールしたりすることについての力のことを言います。社会性と感情のスキルとも呼ばれます。

この調査研究では、あなたは学校で「MELOG」(非認知スキル向上プログラム)の学習をします。「MELOG」では、非認知スキルのうち、特に、次のことを学習します。

自分のことを理解する。

自分に自信を持つ。

友達のことを理解する。



そしてそのプログラムの効果を調べるために、あなたが感じているあなた自身のこと(自分自身や他者についての考え方や感じ方)についてあなたに尋ねる調査を行います。

この調査は、学校ごとに2つのグループに分かれて行います。前半グループの学校では、「MELOG」の学習を10～11月に行います。この学習の始まる前と、終わった後、また、プログラム終了のおよそ2か月後と3か月後の計4回、調査を行います。後半グループの学校では、「MELOG」の学習は1月に行います。学習の始まる4か月前、2か月前、直前と、終わった後の計4回、調査を行います。1回の調査には、15分ほどかかります。「MELOG」の学習に参加する小学5年生を対象としています。

## 2

### 調査に参加するとどうなるの？



あなたの回答は、研究のために使用します。

答えに正解はありませんので、思っていること、感じていることを、そのまま教えてください。調査では、あなたの学校名・学年・組・出席番号・性別・使っている言葉を答えますが、名前を答える必要ありません。研究者はあなたの回答とあなたの名前を結びつけることはできません。回答によって、あなたに迷惑がかかったり、学校の成績にかかわったりすることはありません。

もし、あなたが答えたことやあなたの名前を学校に伝えてほしいときは、調査の最後に伝えてほしいことを教えてください。

調査に参加することで、あなたが思い出したくないことを思い出してしまったり、つらくなったりすることがあるかもしれません。参加をやめたいときは、いつでもやめることができます。また、自分が書いた回答を使ってほしくないときは、調査用紙の最後のページ（下の例があります）の「協力しない」に○をつけると、あなたの回答は使われません。



(例) ●● 調査への協力について ●●

あなたの回答は、だれの回答が完全にわからないようにしたうえで、研究のために  
使用します。その時、あなたが何を答えたのかを特定すること、それを公表すること  
は絶対にありません。この研究への協力について、どちらかに○をつけてくださ  
い。(どちらにも○がない場合は、協力するものとして取り扱います。)  
「協力しない」を選んでも、あなたに迷惑がかかるようなことはありません。

協力する

協力しない

しょうがっこう  
小学校

ねん  
年

くみ  
組

ばん  
番

なまえ  
名前

